

ハケ岳を登る・乗る・走る

ハケ岳トレイルフェスティバルin小海

木村佳司

トレイルラン・マウンテンバイク・オリエンテーリングのトライアスロンがハケ岳で開催された。今年から新種目となったオリエンテーリング。総合力を競うエキスパートクラス男子で、多摩 OL の上坂が総合優勝を飾った。

上坂優勝！

2001年5月26-27日、長野県小海町にてハケ岳トレイルフェスティバルが開催された。2日間に渡ってアウトドアスポーツ3種目が行われ、その合計タイムで優勝が争われた。

初日の種目、トレイルランとマウンテンバイクの合計タイムで2位につけていた多摩 OL の上坂は、最終日の種目のオリエンテーリングで逆転を果たし、見事優勝を飾った。

上坂はハケ岳の山頂を含む25kmのトレイルランニングでトップに立ち、「初めて乗った」というマウンテンバイクで苦しんだものの、初日の総合タイムで2位につける。初日のトップは「マウンテンバイクが専門」という桑原だった。

上坂は最終日トップと6分差のチェイシングスタートでオリエンテーリングのレースを開始する。オリエンテーリングではワールドカップにも出場した経験を持つ上坂は、レース序盤で桑原をあっさり逆転し、そのままフィニッシュラインに飛び込んだ。

初日の4位から追い上げた相原が2位に入り、オリエンテーリング経験者がトレイルフェスティバル男子エキスパート部門の上位を占めた。

トレイルランナーとオリエンテーリングの交流

今回のイベントはランナーズウェルネスが主催したもの。参加者の多くはマウンテンバイクやトレイルランの愛好家たち。オリエン



優勝者 上坂寛之

今回、トレイルフェスティバルのエキスパートクラスに出場し、優勝しました。3種目の競技があった訳ですが、トレイルランではトレイルランのみ参加者も含めての1位、マウンテンバイクでは1位65分に対し、レンタルバイクを駆使して6位で80分(単独種目でのトップは60分)、オリエンテーリングではエキスパートクラスでは1位(単独参加者にはたいがやられました)ということで、オリエンテーリング以外の競技、トレイルランでは強さを見せることができたか、と思います。

アドベンチャーレースやマウンテンバイク系の参加者が多かったようで、田中正人さんがオリエンテーリング出身であることは有名でしょうが、このような大会でオリエンティアが活躍することで、そういうジャンルに関心を持っている人やメディアの目をオリエンテーリングに惹き付けることができれば、と思います。しかしマウンテンバイクはつらかった！

テーリングの経験者はどちらかというとな少数派だった。

こうした方たちに本格的なオリエンテーリングを経験していただく良い機会となった。

やはりアウトドアの達人たちである。大きな道路も耕作地も少ないハケ岳中腹のトレインへいきなり送りこまれたにもかかわらず、終わってみれば完走率100%近く

というのは、すごい一言に尽きる。コース距離は男女ともに7.8km、難易度はAクラス並であったにもかかわらず。

こうしたアドベンチャー系レーサーにとってオリエンテーリングという競技はどのように映ったのだろうか。

トータスが運営を担当

八ヶ岳を中心とした活動を行っているオリエンテーリングクラブトータス。今回のイベントにおけるオリエンテーリング部門の運営も彼らが担当している。短期間の地図作成だったと聞くが、それをあまり感じさせない素晴らしい地図に仕上がっている。正確なO-mapはトレイルランナーの注目を引いていた。

地図も大量印刷ではなくコンピュータデータより出力センターから出力された小ロット印刷を使用し、オーバープリントや印刷上の補正などの処理も細かくおこなった地図を使用している。

昨年夏のトータス大会で使用された地図は5色印刷ではなくプロセス印刷を使用したことが地図を見て判ったのだが、今回の地図は印刷クオリティが高く、トータスの方から印刷について話を聞くまで気付かなかったほどである。

大会運営ではSIが使われたりなど、最新の技術が投入されたイベントでもあった。

白樺の林を走る

筆者の木村は大会2日目のオリエンテーリング部門のみ参加した。八ヶ岳の東麓は南麓と違って尾根沢がはっきりとしている。コースは尾根に沿って設定されており登坂は割と抑えたコース設定といえる。トレインの殆どはカラマツなどの人工林で通行可能度はまずまず。トレイン中央部に地元高校の演習林があり、この部分の通行可能度が良く面白かった。このトレインで特徴的なのはトレインの中にまとまった通行可能度の良い白樺の林があり、新緑に映えてとても美しかったことである。

八ヶ岳東麓は東洋一の白樺の純林がある場所といわれており、こうした白樺の森を駆け巡ることができることもこの大会の特徴である。優勝者・上坂の言葉を借りて言えば「ヨーロッパ的な」と言えなくもないだろう。

来年もこのイベントは行われる予定らしい。オリエンテーリングの枠を超えた競技者のエントリーも多くあるし、オリエンテーリング自体もかなり期待できるので、チャレンジ意欲のある人は是非参加してもらいたい。

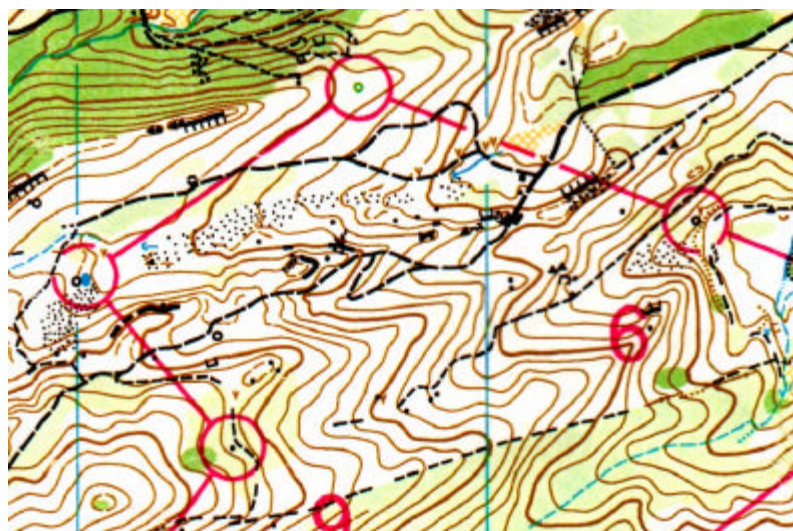
オリエンテーリング部門成績

成績上位10名まで(参加者約50名)

1 元木悟	57:33
2 篠原岳夫	1:03:35
3 奥村理也	1:04:06
4 上坂寛之	1:08:00
5 土屋周史	1:08:08
6 相川創	1:13:12
7 伊藤夏生	1:14:13
8 木村佳司	1:19:27
9 元木友子	1:25:34 (女子)
10 塚田聖次	1:29:42



トレイルランナーの皆さんに競技の説明を行うトータスの国沢氏はじめてのオリエンテーリング競技を前に真剣に聞いています。



今回のコースの一部

初心者にはかなり難しいコースセッティング。しかしこれをほぼ全員が完走できたというのはすごいです。